

令和8年1月1日 No. 207



表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。



市議会の解散による選挙で選ばれた 第21期市議会議員の20人

主な内容

- 新議会構成 【 P. 2 】
- 臨時会の概要 【 P. 4 】
- 9月定例会の概要 【 P. 5 】
- 市長に対する不信任決議 【 P. 6 】
- 百条委員会調査報告 【 P. 7 】

議会に関する情報は、市議会ホームページも併せてご覧ください。

伊東市議会



新 議会構成決定

正副議長の選挙、各常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任を行いました。



第74代副議長
青木敬博



第78代議長
中島弘道

正副議長

臨時会

第二二期市議会議員の初議会となる臨時会を一〇月三十一日開会しました。



委員
みやざきまさしげ
宮崎雅薫



委員
おおかわかつひろ
大川勝弘



副委員長
ながさわ まさし
長沢 正



委員長
すぎもとかずひこ
杉本一彦

常任総務委員会

企画部、危機管理部、総務部、市民部の所管に属する事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項を審査します。



委員
しげおかひでこ
重岡秀子



委員
あさだ よしひろ
浅田良弘



委員
さとう しゅう
佐藤 周

※中島弘道議長は、常任総務委員会に所属していましたが、議長の職に専念するため、就任と同時に委員会活動を辞退します。

議会運営委員会

定例会、臨時会の会期、議案審議予定に関する事、議員提出議案、請願書、陳情書、動議の取扱いに関する事、議会関係人事案件に関する事、議会関係例規の制定改廃に関する事、各種の儀礼に関する事、議会図書室に関する事、議長の諮問に関する事、その他議会運営に関する事を協議します。

委員長 大川 勝弘
副委員長 佐藤 周
委員 河島紀美恵
委員 長沢 正
委員 四宮 和彦
委員 虫明 弘雄

市議会内 会派の結成

令和七年一〇月三十一日現在

新しく構成された市議会に次のとおり五つの会派が結成されました。

(◎) 会派代表者、
会派構成議員は議席順)

常任観光建設委員会

観光経済部、農業委員会、建設部、上下水道部の所管に属する事項を審査します。



委員
あおき よしひろ
青木敬博



副委員長
むらかみしょうへい
村上祥平



委員長
いど きよし
井戸清司



委員
しのみやかずひこ
四宮和彦



委員
たけもととりきや
竹本力哉



委員
かわしま きみえ
河島紀美恵

常任福祉文教委員会

健康福祉部、教育委員会の所管に属する事項を審査します。



委員
おおたけ けい
大竹圭



副委員長
むしあきひろ お
虫明弘雄



委員長
すず きあや こ
鈴木絢子



委員
かたぎりもとゆき
片桐基至



委員
いぬかい
犬飼このり



委員
しのはらみね こ
篠原峰子

伊東未来

河島紀美恵 議員

大竹圭 議員

青木敬博 議員

大川勝弘 議員

◎杉本一彦 議員

正風クラブ

村上祥平 議員

鈴木絢子 議員

◎佐藤周 議員

宮崎雅薫 議員

公明党

◎長沢正 議員

竹本力哉 議員

篠原峰子 議員

政和会

犬飼このり 議員

◎四宮和彦 議員

浅田良弘 議員

自由民主 伊東

中島弘道 議員

虫明弘雄 議員

◎井戸清司 議員

会派に所属していない

片桐基至 議員

重岡秀子 議員

※第二期議員の任期は、令和七年一〇月一九日から令和十一年一〇月一八日までになります。

令和7年10月31日臨時会で 審議した議案等

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第10号	令和7年度伊東市一般会計補正予算（第3号）	令和7年9月5日の台風15号により被災した市道川奈線の崩落箇所と、市道赤坂線の市営住宅用地の崩落箇所の災害復旧に係る経費をはじめ、災害救助法に基づき、居住している家屋が準半壊以上の被害を受け、自力での応急修理が困難な方への応急修理費用1億5,362万1,000円の追加	市長	全会一致で可決
市選第3号	監査委員選任の同意について	宮崎雅薫議員（議員のうちから選任する委員）	市長	全会一致で選任に同意
市認第14号 👉 討論	令和7年度伊東市一般会計補正予算（第2号）専決処分の報告承認について	令和7年9月10日の市議会解散に伴う伊東市議会議員選挙に係る経費をはじめ、定額減税補足給付金給付事業ほか2事業と、老朽化が著しい観光施設や都市公園施設の維持管理経費のほか、市道における令和7年9月5日の台風15号被害への応急復旧に係る補正予算について、令和7年9月11日付で専決処分を行ったことの報告承認	市長	賛成多数で承認
市認第15号	教育委員会委員任命の専決処分の報告承認について	遠山泰範氏任命について、令和7年9月11日付で専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第16号	公平委員会委員選任の専決処分の報告承認について	佐藤直道氏選任について、令和7年9月11日付で専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
発議第7号	予算・決算特別委員会設置について	一般会計に係る予算及び決算議案の一体的な審査を目的とした特別委員会の設置	議員7名 ^{※1}	全会一致で可決
発選第3号	議長の選挙	有効投票19票のうち、中島弘道議員が19票で当選	—	—
発選第4号	副議長の選挙	有効投票20票のうち、青木敬博議員が20票で当選	—	—
発選第5号	議会運営委員会委員の選任について	2ページをご覧ください。	議長	全会一致で可決
発選第6号	常任委員会委員の選任について	2、3ページをご覧ください。	議長	全会一致で可決
発選第7号	駿東伊豆消防組合議会議員の選挙	指名推選により、浅田良弘議員、大川勝弘議員、佐藤周議員が当選	—	—
発議第8号 👉 討論	市長に対する不信任決議について	決議文は6ページをご覧ください。	議員6名 ^{※2}	賛成多数で可決

※1 各会派代表者及び会派に所属していない議員全員（議員全員からの共同提出と同義となります。）

※2 各会派代表者及び会派に所属していない議員1名

本会議で行われた討論の概要

※賛成・反対ごと、登壇順に掲載。会派構成は3ページをご覧ください。

市認第一四号

《賛成》伊東未来
河島紀美恵議員

本来ならば、審議にて決定すべき議案を、議会解散で専決処分報告承認とする総務費には、市議会議員選挙費六三〇〇万円が計上されている。執行に異議は唱えないが、多くの皆様から「政治的判断として、適切ではない税金の使い方ではないか」とのご意見をいただいたことを申し添え、賛成とする。

《反対》政和会
犬飼このり議員

本補正予算のうち市議会議員選挙費六三〇〇万円は、市議会全会一致の市長不信任決議に対し民意を無視して議会を解散し行われた選挙費であり、市民が納得できる正当な理由があるのか。承認欲求のための選挙費用は市長自ら責任を負うのが妥当であり、大切な市費を費やすことは認められず報告承認に反対する。

発議第八号

《賛成》伊東未来

大竹圭議員

混乱した市政を立て直し、市民の信頼を回復するため、議会は二度目の不信任決議に踏み切った。

責任と説明を欠いた市政運営は、市民の安心と行政の機能を損なう。誠実さと透明性を取り戻し、信頼される行政を再構築することが求められている。

市政を正常な軌道に戻すため、本決議に賛成する。

《反対》片桐基至議員

百条委員会と本不信任決議は事実の解釈において極めて一方的であり、行政監視権の濫用かつ、議会の多数派による少数派の市長の排斥である。民意のねじれのなか議会がすべきことは、政策本意の冷静な議論の再開である。本決議は直接民主主義の深刻な危機であり、市政の健全性を著しく損なうため断固反対する。

令和7年9月定例会

2件の議案等を審議、決定 9月定例会を9月1日に開催しました。

議案番号	件名	概要	提出者	審議結果
—	不出頭等に対する告発について	地方自治法第100条第3項に規定する出頭の拒否、記録提出の拒否及び証言の拒否、並びに、同条第7項に規定する虚偽の陳述に該当すると認められるため、同条第9項の規定により告発するもの	—	全会一致で可決
発議第6号 討論	市長に対する不信任決議について	決議文は市議会ホームページ「請願・陳情、決議・意見書とは？」のページをご覧ください。	議員8名*	全会一致で可決

※各会派代表者及び会派に所属していない議員全員（議員全員からの共同提出と同義となります。）

本会議で行われた討論の概要

※賛成・反対ごと、登壇順に掲載。会派構成は七ページをご覧ください。

発議第八号

《賛成》正風クラブ
佐藤周議員

市長は耳を閉ざし、事実をねじ曲げたため、事実をNSで発信し続け、一万四〇〇〇票余りを投じた市民の思いを踏みにじっている。除籍の学歴を否定しているのではない。市民が田久保市長就任後の振る舞いを問題視し、不信感を通り越して、怒りをあらわにしている状況から、不信任決議に賛成する。

《賛成》伊東未来

大川勝弘議員

経歴詐称の内容よりもその後の対応のひどさにより起きた混乱と今の伊東市政の状態に鑑みると、田久保市長が辞める以外にこの混乱に終止符は打てない。伊東市を代表する市長の立場で責任者が責任を取らないのであれば、私たち議会が責任を取らせるしかない。

考え、発議第六号市長に対する不信任決議に賛成する。

《賛成》公明党
篠原峰子議員

市民への説明責任が果たされず、市政は停滞している。私たち議員は市長との信頼関係を築くことができず、共に市政を進めることは困難である。市長が所信表明で掲げた「市民のため」という言葉も、市民の不安や分断が広がる現状を見ると、その実感は得られない。よって、市長に対する不信任決議に賛成する。

《賛成》重岡秀子議員

学歴詐称疑惑や進退について、自ら事実を説明し、市民への真摯な説明責任を果たす姿勢が見られず、市政の混乱が長引く原因となった。議会側も事実が不確かな怪文書をマスコミに提供するなど残念な行為があったと考えるが、公正・

公明な市政を望む民意に範を示せない市長の政治的な責任は重く、賛成とする。

《賛成》犬飼このり議員

問題の原因は政策論争ではなく、明らかに市長本人の身から出たさび。表向きには頭を下げ謝罪の言葉を繰り返すが、説明責任は果たさず誠実さのかけらも感じられない。公人としてあるまじき身勝手な行為を繰り返し、その言動、資質全てにおいて私たちの市長にはふさわしくないと判断し、不信任決議に賛成する。

ことばの解説

討論

一般的に使用されているある議題に対しお互いの意見を聞かせることとは異なり、表決の前に、議題となっている議案について、議員が自己の賛否の意見を表明すること。このため、討論は一議題につき、一議員一回とされ、他の議員の討論内容に対し、再度討論することはできません。



市長に対する不信任決議を可決



一度目の不信任決議全文はこちら [🔗](#)

9月定例会初日（令和7年9月1日）において、田久保眞紀市長に対する不信任決議案が提出され、全会一致で可決されました。その後市長により議会が解散され、選挙後初めて招集された臨時会（令和7年10月31日）において、二度目の不信任決議案が提出され、賛成多数で可決されたことにより、田久保眞紀市長は失職しました。

市長に対する不信任決議

田久保眞紀市長は、令和7年9月1日伊東市議会において全会一致で議決した市長に対する不信任決議に対し、同月10日、市議会を解散するという大義なき判断をした。

市長の学歴詐称という極めて個人的な不祥事について、説明責任を果たすどころか、根拠のない不可解な言動等を繰り返すことで招いた数々の混乱に対する責任を負うことなく、追及されるたびに論点をすり替え市民を欺き続ける態度には、市議会の解散を正当化し得るだけの大義はみじんもない。また、あろうことか自身の問題を直視せず棚上げし、事実無根にもかかわらず議案審議を放棄したとして市議会に解散の責任を転嫁した振る舞いは、自身を正当化するためだけに、こじつけの理由をつくりあげ、市議会の不在をいいことに一方的に主張するに過ぎないものであったと言え、暴君の所業と言っても過言ではない。

多額の予算が計上された市議会議員選挙に対しては、「選挙執行に対してお金がもったいないというのは、これは果たしてどうなのか」との旨を述べ支離滅裂な大義名分を語るなど、自身のエゴイズムの代償として市民の血税や時間が浪費されることに対し、何のためらいもない様子には驚くばかりか、常人には到底理解し得ず、毎日の生活に苦慮している市民のことを忘却した無責任な発言であったと言える。

本市議会からの告発をはじめとして、複数の刑事告発を受けている状況にあるにもかかわらず、その職にとどまり続ける態度は、自身の置かれている立場を全く客観視できておらず、本市議会のみならず、伊東市民を侮辱するものにほかならない。

混戦を極めた市議会議員選挙において、立候補した前職18名が全員当選するという選挙結果は、民意がまごうことなく田久保眞紀市長の退任を求めていることの証左であり、投票した市民の良識が示された以上、本市議会が残り、市長が失職するという結果に至るのは道理であることから、市長自身に進退の選択の余地を与えるものではない。

しかしながら、選挙結果を受けてもなお、動画配信サイト等の安全圏において、荒唐無稽な持論をもって100条委員会や東洋大学を誹謗中傷し続け、保身を企てる姿は、民意を一番に考える市長の姿とは見てとれず、それこそ自身のなすべき責務を放棄した度を越した自己愛の暴走であり、情報発信の自由度が高い時代においては、影響力の大きい公人としてふさわしくない悪あがきであるとも言え、滑稽でしかない。

就任から5か月余りが経過してもなお、目立った政策の提示や実現がされない中、改革者の名を僭称する市長が唯一改革の火種を残したと言えるのは、地方自治の歴史に残る出来事として、性善説に成り立つ地方自治法の趣旨からは想定していない事態が生じ得るということであり、市民や市政を第一優先としない首長がいた場合に「まちはどうなってしまうのか」というケーススタディーとして、法律の穴とも言える点について世の中で広く議論されるようになったことのみである。

市議会議員選挙の結果を受け辞職の意を表明してもよいところ、報道取材においても何ら誠意を示すことなく、ただ待ち続け今日この議場にいるということは、自省の姿勢などかけられないことを示すものである。田久保眞紀市長がその職にとどまり続けることは、選挙を通じて示された民意を無視するものであり、決して許されることではない。引かず、省みず、悪びれることのない市長の姿勢に対し、本市議会は、市民が伊東市民としての誇りを取り戻せるよう、民意を尊重し地方自治法に従い、粛々と手続を進めるのみである。

よって、本市議会は、田久保眞紀伊東市長を、再び信任しない。

以上、決議する。

令和7年10月31日

伊 東 市 議 会



百条委員会調査報告



調査報告書
全文はこちら



令和七年七月七日に設置された市長の学歴及び入札執行停止に係る事務調査特別委員会（百条委員会）により、市の広報事務に瑕疵が生じたことの原因及び騒動の発端となった市長の学歴詐称疑惑について、世論の関心の高まりを受け、事実究明のために調査を実施しました。また、新図書館建設事業の入札執行停止について、手続等の適正性を確認しました。

●開催状況

全八回

（令和七年七月二一日）

令和七年八月二九日）

●証人の出頭等

（一）令和七年七月二一日

市企画部長

市秘書広報課長

（二）令和七年七月二五日

田久保眞紀氏（伊東市長）

※出頭拒否

（三）令和七年七月二九日

A証人

（四）令和七年八月一三日

田久保眞紀氏（伊東市長）

市総務部長

市庶務課長
市教育部長
市生涯学習課長

●記録の提出

（一）田久保眞紀氏（伊東市長）

に対し、令和七年七月一日及び八月六日付で記録の提出を請求したが、いずれも拒否であった。（二）東洋大学に対し、令和七年七月二三日及び八月一八日付で記録の提出を請求し、それぞれ調査に必要な情報の回答を得た。

●調査結果

（一）市長の学歴に係る事務に関する事項

田久保眞紀氏（伊東市長）が、大学卒業を意図的に詐称したのではないとして「除籍の事実を知ったのは令和七年六月二八日」と主張していた点について、A証人の証言や東洋大学から提出された資料を確認した結果、同氏の主張が虚偽であることが判明。市の広報事務に瑕疵が生じたのは、同氏が、偽造された卒業証書を意図して行使し、故

意に市民、職員及び議会を欺いたものと断定した。また、偽造有印私文書行使罪に該当することが強く疑われるため、適切に処分される必要があると結論づけた。

（二）入札執行停止に係る事務に関する事項

政策の方針が変わることで時間的猶予なく即時入札執行停止したことはやむを得ないが、損害賠償のリスクについて、市長自身が担当部署と十分に協議をし検討する場が必要であったものと指摘。

●告発

田久保眞紀氏（伊東市長）に対し、百条委員会における四件の地方自治法違反（記録提出拒否、出頭拒否、証言拒否、虚偽の陳述）について、地方自治法第一〇〇条第九項の規定により刑事告発をすべしと決定。百条委員会調査報告により本会議にて告発の件を議題とし、全会一致で告発すること

を議決した。

九月定例会中の
市議会内の会派構成

■正風クラブ

村上 祥平 議員
鈴木 絢子 議員
◎佐藤 周 議員
宮崎 雅薫 議員

■自由民主 伊東

虫明 弘雄 議員
河島紀美恵 議員
中島 弘道 議員
◎井戸 清司 議員

■公明党

◎長沢 正 議員

竹本 力哉 議員

篠原 峰子 議員

■伊東未来

青木 敬博 議員

◎大川 勝弘 議員

杉本 一彦 議員

■政和会

◎四宮 和彦 議員

杉本 憲也 議員

■会派に所属していない

犬飼このり 議員

重岡 秀子 議員

浅田 良弘 議員

（◎）会派代表者、

会派構成議員は議席順）

※欠員一名あり

※九月一〇日付で議会解散

新議員行政研究会

今後議員活動を行う上において必要となる基礎的事項に関し理解を深めるため、一〇月一九日の市議会議員選挙において当選した新議員二人を対象に、研修会を実施しました。

【一〇月二四日】

執行機関の概要説明

【一〇月二七日】

議事機関の概要説明

【二月七日】

市内各施設の視察

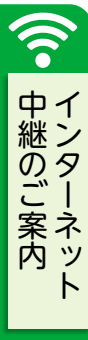
- ・文化財管理センター
- ・環境美化センター
- ・競輪場
- ・学校給食センター
- ・健康福祉センター
- ・図書館



図書館にて研修



環境美化センターにて研修



伊東市議会では、本会議の録画映像をインターネットで配信しています。

本紙面に掲載しています九月定例会及び臨時会における本会議の様子もご視聴いただけますので、ぜひご覧ください。



※この録画映像は、伊東市議会の公式記録ではありません。各会議の公式な記録は、後日作成される会議録をご覧ください。

閉会中の議会活動

令和7年6月定例会閉会から
令和7年9月定例会開会まで



7月 8日・9日	諏訪・伊東姉妹都市議会議員 交歓研修会
7月11日	百条委員会
7月18日	百条委員会
7月25日	百条委員会
7月29日	百条委員会
7月31日	常任福祉文教委員会協議会
8月 1日	議会改革特別委員会
8月 6日	議会報編集委員会
8月 6日	百条委員会
8月 7日	常任観光建設委員会協議会
8月13日	百条委員会
8月18日	百条委員会
8月29日	百条委員会
8月30日	議会運営委員会

※百条委員会=市長の学歴及び入札執行停止に係る
事務調査特別委員会

寄附行為やあいさつ状の禁止について

市内において、議員が次の行為を行うことは
公職選挙法で禁止されています。
ご理解とご協力をお願いいたします。

- 答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等、時候のあいさつ状を出すこと
- 有料のあいさつ広告を出すこと
- 政党、その他の政治団体や親族に対するものを除き、寄附をすること ※寄附には、お歳暮やお年賀なども含まれます。

秘書等が代理で出席する場合の結婚祝	地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入	お祭りへの寄附・差入
町内会の集会・旅行等の催物への寸志・飲食物の差入	みんなで徹底しよう 三ない運動 贈らない! 求めない! 受け取らない! これらのものも、政治家の寄附禁止の対象となります。	落成式・開店祝等の花輪
病気見舞	お歳暮・お年賀	秘書等が代理で出席する場合の葬儀の香典
入学祝・卒業祝	葬儀の花輪・供花	

編集後記

議会解散による伊東市議会議員選挙が一〇月一九日に行われ、市民の代表として活動する第二期議員が誕生しました。

議会報編集委員会も左記メンバーで新たに構成され、新体制で市議会だよりを発行してまいります。

今後も、市民の皆様により身近で、分かりやすい紙面づくりに努めてまいりますので、本誌を通じて、市議会に関心を持っていただければ幸いです。前期に引き続きご愛読いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。(議長 中島)

議会報編集委員会

委員長	竹本 力哉
副委員長	村上 祥平
委員	大竹 圭
〃	犬飼このり
〃	虫明 弘雄

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ